



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社淀川製鋼所 上場取引所 東
コード番号 5451 URL <https://www.yodoko.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二田 哲
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 出口 尊之 TEL 06-6245-1113
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	156,742	2.1	11,114	24.3	17,338	45.1	11,303	45.8
2024年3月期第3四半期	153,465	△10.5	8,939	△17.0	11,948	△18.0	7,751	△8.6

(注) 包括利益2025年3月期第3四半期 7,415百万円 (△55.7%) 2024年3月期第3四半期 16,728百万円 (25.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	391.09	390.16
2024年3月期第3四半期	268.39	267.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	261,969	213,236	72.2
2024年3月期	265,863	213,832	71.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 189,249百万円 2024年3月期 189,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	55.00	—	145.00	200.00
2025年3月期	—	100.00	—		
2025年3月期（予想）				233.00	333.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日（2025年2月7日）公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	2.5	13,100	9.0	20,600	35.5	12,800	187.2	442.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては3ページの「1.経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	31,837,230株	2024年3月期	34,837,230株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,921,217株	2024年3月期	5,942,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	28,901,524株	2024年3月期3Q	28,880,814株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページの「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、引き続き緩やかな持ち直しの動きはあるものの実質賃金が上昇せず個人消費が伸び悩むなど、力強さを欠く状況が続いております。

世界経済におきましては、米国では雇用の改善に鈍化が見られるものの、インフレ圧力が緩和し個人消費に改善が見られるなど景気は底堅く推移しております。中国では政府による経済刺激策により部分的には改善の動きは見られるものの、個人消費は盛り上がり欠け内需が振るわず、外需が下支えする状況が続いております。欧州では、天然ガスを始めとするエネルギー価格の高騰などから製造業において低迷が続いており、これまで景気改善をけん引していたサービス業にも弱さが見られるなど回復力に欠ける状況となっております。

鉄鋼業においては、日本国内では、住宅着工や機械受注について資材価格の高騰や人的資源不足などから弱含む状況が続いており、自動車生産についても減速傾向となっていること、また安価な輸入鋼板が流入していることなどから、鉄鋼受注・生産ともに低迷が続いております。

海外鉄鋼市場では、中国で経済の減速から需要が減少する一方で引き続き高水準な生産が続いており、インドなどの新興国では需要が増加したものの中国の減少を補えず、市況は弱含んでおり、世界的な通商摩擦への懸念・警戒感も高まっております。

このような環境のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,567億42百万円（前年同期比32億77百万円増）、営業利益111億14百万円（同21億75百万円増）、経常利益173億38百万円（同53億89百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益113億3百万円（同35億51百万円増）となりました。

日本国内では塗装鋼板をはじめとする高付加価値商品の販売に注力したこと等から減収ながら増益となりました。

海外では、主に台湾の子会社である盛餘股份有限公司（以下、SYSCO社という。）での販売量が増加したこと増収となりましたが、台湾国内での鉄鋼市況が軟化したことなどから減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 鋼板関連事業

売上高は1,494億55百万円、営業利益は111億43百万円となり、増収・増益となりました。

< 鋼板業務 >

日本において、前年同期比較では各品種の販売価格はやや下落しました。めっき鋼板においては販売量が減少しましたが塗装鋼板においては販売量が増加したこと等から、減収ながら増益となりました。

海外では、台湾のSYSCO社は、販売量は増加したものの主に台湾国内向けの販売価格が下落したことなどから増収・減益となりました。中国の子会社である淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司（YSS社）は、中国国内の長引く不動産不況の影響などから回復の勢いは鈍く業績の改善は小幅に留まりました。タイの子会社であるPCM PROCESSING (THAILAND) LTD.（PPT社）は、引き続き堅調に推移しておりますが前年同期比では減収・増益となりました。

< 建材業務 >

建材業務では、エクステリア商品につきましては酷暑の影響などから売り上げが伸び悩み、外装建材商品であるヨドローフの売り上げは進捗したものの減収・減益となりました。

② ロール事業

売上高は20億20百万円、営業損失は1百万円であります。

日本国内向け・輸出向け共に販売量が減少したことから、減収・減益となりました。

③ グレーチング事業

売上高は24億91百万円、営業利益は1億14百万円であります。

販売価格は改善したものの、販売量が減少したことから減収・減益となりました。

④ 不動産事業

売上高は10億32百万円、営業利益は6億26百万円であります。

売上・損益ともにほぼ前年並みに推移しました。

⑤ その他事業

売上高は17億42百万円、営業利益は4億16百万円であります。

倉庫運送事業などの売上が回復していることなどから増収・増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末より29億28百万円増加し1,590億47百万円となりました。主な要因としては、受取手形、売掛金及び契約資産の増加(11億2百万円)、有価証券の増加(4億83百万円)、仕掛品の増加(8億28百万円)等となっております。

固定資産は前連結会計年度末より68億21百万円減少し、1,029億22百万円となりました。主な要因としては、投資有価証券の減少(70億73百万円)等となっております。

以上の結果、連結総資産は2,619億69百万円となり、前連結会計年度末と比べ38億93百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末より3億24百万円減少し、277億88百万円となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の増加(4億60百万円)、電子記録債務の減少(5億44百万円)、賞与引当金の減少(2億66百万円)等となっております。

固定負債は前連結会計年度末より29億72百万円減少し、209億44百万円となりました。主な要因としては、製品補償引当金の減少(16億87百万円)等となっております。

この結果、連結負債合計は487億33百万円となり、前連結会計年度末より32億97百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より5億95百万円減少し、2,132億36百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加(113億3百万円)、配当による利益剰余金の減少(70億80百万円)、その他有価証券評価差額金の減少(44億18百万円)等となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

日本経済は、引き続き緩やかな回復基調が続くものと予想されますが、海外経済の減速や物価高による個人消費の冷え込みなどの懸念から力強さを欠く展開となっております。世界経済はヨーロッパで見られた景気の持ち直しの動きは閉塞感を強めており、ロシアによるウクライナ侵攻を始めとする地政学的リスクも当面は続くことが予想されることから引き続き不安定な状況が続くものと想定されます。

鉄鋼市場は、日本国内および海外市場ともに、鉄鋼原材料や資源・エネルギーのコスト上昇が一段落しつつあるものの、依然として不安定な状況が続いております。米国新政権の通商政策の行方や、中国および新興国の高水準な輸出による世界的な通商摩擦の懸念が払拭できず、需給バランスを含め、当面の市場の見通しは不透明であると考えられます。

当社グループにとっても、各地域の需要およびコスト環境は予断を許さない不安定な動きが続くものと考えられ、厳しい事業環境が継続するものと予想されます。

このような不透明な事業環境の中、当社グループとしましては、変化の激しい市況に応じた機動的な営業・生産活動につとめるとともに、「淀川製鋼グループ中期経営計画2025」の着実な実行に取り組むことで、収益力強化を図ってまいります。

以上の状況を踏まえ、当社グループの2025年3月期通期業績を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,808	56,368
受取手形、売掛金及び契約資産	45,474	46,577
電子記録債権	4,823	5,274
有価証券	4,009	4,493
商品及び製品	22,751	22,507
仕掛品	5,591	6,420
原材料及び貯蔵品	14,939	15,289
その他	1,898	2,294
貸倒引当金	△177	△178
流動資産合計	156,119	159,047
固定資産		
有形固定資産	55,940	55,881
無形固定資産	2,203	2,192
投資その他の資産		
投資有価証券	49,643	42,569
退職給付に係る資産	1,422	1,503
その他	534	775
投資その他の資産合計	51,600	44,848
固定資産合計	109,743	102,922
資産合計	265,863	261,969
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,892	14,353
電子記録債務	2,986	2,442
短期借入金	544	793
未払法人税等	2,097	2,136
賞与引当金	1,117	850
その他	7,475	7,212
流動負債合計	28,113	27,788
固定負債		
役員退職慰労引当金	28	16
退職給付に係る負債	5,315	5,251
製品補償引当金	9,457	7,770
その他	9,114	7,905
固定負債合計	23,917	20,944
負債合計	52,031	48,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,220	23,220
資本剰余金	18,279	11,406
利益剰余金	126,905	131,179
自己株式	△11,845	△4,900
株主資本合計	156,559	160,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,543	18,125
土地再評価差額金	1,505	1,454
為替換算調整勘定	7,881	7,726
退職給付に係る調整累計額	1,089	1,036
その他の包括利益累計額合計	33,020	28,343
新株予約権	125	101
非支配株主持分	24,126	23,884
純資産合計	213,832	213,236
負債純資産合計	265,863	261,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	153,465	156,742
売上原価	129,358	131,217
売上総利益	24,106	25,525
販売費及び一般管理費	15,167	14,410
営業利益	8,939	11,114
営業外収益		
受取利息	413	491
受取配当金	999	1,204
為替差益	193	96
投資有価証券売却益	1,024	4,015
持分法による投資利益	369	364
その他	265	258
営業外収益合計	3,265	6,431
営業外費用		
支払利息	87	64
海外外向費用	119	91
その他	49	52
営業外費用合計	256	208
経常利益	11,948	17,338
特別利益		
固定資産売却益	952	11
抱合せ株式消滅差益	—	73
特別利益合計	952	84
特別損失		
固定資産除売却損	488	84
投資有価証券評価損	—	44
減損損失	0	56
特別損失合計	488	185
税金等調整前四半期純利益	12,412	17,237
法人税、住民税及び事業税	3,470	4,213
法人税等調整額	137	623
法人税等合計	3,607	4,836
四半期純利益	8,804	12,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,053	1,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,751	11,303

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	8,804	12,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,108	△4,449
為替換算調整勘定	3,743	△504
退職給付に係る調整額	10	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	61	6
その他の包括利益合計	7,924	△4,985
四半期包括利益	16,728	7,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,067	6,676
非支配株主に係る四半期包括利益	2,661	738

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	3,568百万円	3,400百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼板関連 事業	ロール 事業	グレーチ ング事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	145,857	2,489	2,598	964	151,909	1,555	153,465	—	153,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	309	309	1,681	1,990	△1,990	—
計	145,857	2,489	2,598	1,274	152,218	3,237	155,456	△1,990	153,465
セグメント利益	8,896	49	156	616	9,719	256	9,975	△1,035	8,939

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、運輸・倉庫業、ゴルフ場、機械プラント、売電(太陽光発電)等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、配賦不能費用△1,024百万円、セグメント間取引消去△11百万円を含んでおります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼板関連 事業	ロール 事業	グレーチ ング事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	149,455	2,020	2,491	1,032	154,999	1,742	156,742	—	156,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	313	313	1,752	2,066	△2,066	—
計	149,455	2,020	2,491	1,346	155,313	3,495	158,809	△2,066	156,742
セグメント利益又は 損失(△)	11,143	△1	114	626	11,883	416	12,299	△1,185	11,114

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、運輸・倉庫業、ゴルフ場、機械プラント、売電(太陽光発電)等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、配賦不能費用△1,187百万円、セグメント間取引消去2百万円を含んでおります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。